

R 1.5.13 指定管理募集説明会・見学会における質問事項について

1 説明会

Q 1 仕様書P 3 1の観光情報センターのデジタルサイネージの基数と別紙9の基数が一致していない。

A 1 仕様書P 3 1のとおりです。修正版の別紙9を公開します。

2 見学会

Q 2 中央図書館の閉架書庫内の2階にある蔵書数はどのくらいか。

A 2 47, 298冊(R 1.5.13現在)となっています。その内訳は、次のとおりです。

【内訳】 9門 30, 274冊 児童 15, 793冊
新聞 1, 231冊

その他参考として、閉架書庫内の1階には、68, 382冊が収まっています。また、児童図書室内にある児童図書用閉架書庫には、7, 071冊が収まっています。

Q 3 中央図書館の閉架書庫の資料は、新館に移った場合も全て閉架書庫に入ることになるか。

A 3 整備実施計画に掲載している蔵書計画に基づきながら、指定管理者と準備業務の中で具体的に協議・検討していきます。現時点では、閉架書庫中の資料であっても、新館の開架スペースの充足状況から、比較的状态の良い資料については、新館で開架する場合もありえるものと考えています。

Q 4 新館においても、現在の中央図書館と同等の資料構成になるという理解でよろしいか。

A 4 整備実施計画に掲載している蔵書計画に基づき、選書会議等を通じて構築していくこととなります。現中央図書館の開架スペースの限界等から充実できなかったヤングアダルト図書、雑誌等の資料や新しい利用者層の拡大に向けた資料の充実を図ることを想定していることから、資料の構成比率は、現状から変わります。

Q 5 現在の駅前観光案内所利用者の外国人の国別の傾向はどうなっているのか。

A 5 平成30年1月～12月の実績では、総数約570名の立寄りのうち、国別上位3カ国は、台湾(28%)、米国(12%)、中国(香港を除く。9%)となっています。

Q 6 八幡分館の入口前の通路にある複写機は図書館のものか。

A 6 隣接する地元地区コミュニティセンターの所有物(輪転機)である。現在、八幡分館においては、複写サービスを行っていないが、来年2月1日より複写機を設置し、複写サービスを行う予定です。

Q 7 八幡分館の清掃はどうなっているのか。

A 7 八幡総合支所の清掃時に八幡分館の清掃を実施しています。(図書館側の費用負担なし)

Q 8 八幡分館の職員は、常に1人体制か。

A 8 早番と遅番とでローテーションしている。現在、重複する時間帯 12:45~16:00 は、2人体制となっています。

Q 9 ひらた図書センターの職員は、常に3人体制か。

A 9 早番 8:30~15:30、日勤 10:00~17:00、遅番 12:30~18:30 の3人体制で行っています。

Q 10 ひらたタウンセンターの施設全体の施錠の管理はどうしているのか。

A 10 行政窓口勤務の市正職員の終業時刻午後5時15分以降の管理は、シルバー人材センターに委託しており、行政窓口とひらた図書センターの2か所に管理人を配置しています。施設全体の最終施錠は、行政窓口担当の管理人が行っています。

Q 11 ひらたタウンセンターの施設全体の警備・火災報知機等の制御盤は、どのように運用しているのか。

A 11 警備・火災報知機等総合防災盤については、行政窓口のある事務室にメイン受信機を、ひらた図書センターに副受信機を設置しており、全体統括は行政窓口の事務室(市職員)側で対応しています。

警備は、セコム(株)酒田支社へ委託し、機械警備を行っています。

Q 12 ひらたタウンセンターで非常ボタンが押された場合、ひらた図書センターの職員が対応するのか。

A 12 ひらた図書センターの職員は、状況に応じて他の施設職員と協力しながら対応することになります。

Q 13 松山分館への本の配送はどうなっているのか。

A 13 毎週月・水・金曜日の3回、巡回により貸出本等の配送を行っています。

Q 14 松山分館の管理方法は、現状の体制を引き継ぐことで良いのか。

A 14 お見込みのとおりです。